

1 明治学院大学教育連携・ボランティア・サティフィケート・プログラム

1.1 総括

「明治学院大学教育連携・ボランティア・サティフィケート・プログラム」は、本学で活発に行われているボランティア実践と、大学の学びを融合する全学的な取り組みとして2016年度に始まった。

このプログラムは、①135時間以上のボランティア実践、②各学部学科と、共通科目を担当する教養教育センターが指定した科目のうち16単位の修得、③135時間のボランティア実践と、大学での学びを結びつけるための手がかりをつくる「インテグレーション講座（2016年度、2017年度登録学生は3回、2018年度登録学生は4回）」を受講した学生に、サティフィケート（修了証）を授与するものである。

本年度は3年目となり、2016年度に登録した学生（3年生）が認証を受ける。2019年1月時点で10名を越える学生がインテグレーション講座を終え、自身のボランティア実践と大学での学びを結びつけた最終報告書を提出している。第2回以降のインテグレーション講座は、各学部から選出された運営委員の協力を受け、全学的な体制できめ細やかな指導体制を構築することができたことに感謝したい。また、2016年度登録学生（3年生）の報告を聞くことで、2017年度登録学生（2年生／2019年1月段階で17名が登録）も進級以降の履修・学習について検討する手がかりを得ることができた。

2018年度登録学生（1年生／2019年1月段階で33名が登録）については、これまで実施してきた第1回インテグレーション講座（6月～8月に実施）に加えて、「学びに基づくボランティア実践プレゼンテーション大会」の聴講、教養教育センターの運営委員によるボランティア学のレクチャーを受けることがインテグレーション講座として加わった（いずれも2018年11月10日に白金キャンパスで実施した）。これによって、第1回インテグレーション講座と、第2回インテグレーション講座までの間に1年以上空白期間があるという問題を解消し、登録学生の本プログラムへの動機付けを高めていくことができると考えている。また、2017年度に着任した本プログラムを担当する非常勤コーディネーターが、学生のボランティア実践に対するフィードバックをするとともに、2016年度生に対しては第3回インテグレーション講座で行うプレゼンテーションに向けた指導や、最終報告書についての相談も行っている。

初めての認証を行った経験を踏まえて、2019年度は本プログラムの意味を深められるような検証と改善を引き続き行っていく。

（ボランティアセンター長補佐 猪瀬浩平）

1.2 2018年度スケジュール

日にち	内容
4月	新入生向け学科別ガイダンスにて「明治学院大学教育連携・ボランティア・サティフィケート・プログラム」について告知
① 4月23日(月)	ガイダンスの実施
② 4月25日(水)	「ボランティアと教育の連携についての意義、プログラムの概要」を説明
5月	ショート講座 「1Dayに参加してみよう」対象：全学生（横浜：5/14、5/28） 「11月の発表に向けて見通しをもとう」対象：登録3年生（横浜：5/7、5/21、白金：5/9、5/30）
5月16日(水)	インテグレーション講座の告知・エントリー受付開始
6月	ショート講座 「ボランティアを探してみよう」対象：全学生（横浜：6/13、6/25） 「自分のボランティアをアピールしよう」対象：2・3年生（横浜：6/4、6/18、白金：6/6、6/20）
① 6月26日(火)	インテグレーション講座 対象：登録1年生（2年生も可）
② 6月27日(水)	【テーマ】「ボランティア実践から学ぶとは」
③ 7月7日(土)	【内容】「大学での学び」と「ボランティア実践からの学び」の違いについて理解を深めた。
④ 8月2日(木)	【講師】猪瀬浩平（ボランティアセンター長補佐 教養教育センター教授） 中原美香（ボランティアコーディネーター） 田口めぐみ（ボランティアコーディネーター）
7月	ショート講座 「ボランティアに触れてみよう（人形劇のための紙人形を作ってみよう）」 対象：全学生（横浜：7/2、7/4）
9月	ショート講座 「まずは、テーマを考えてみよう」対象：登録3年生（横浜：9/25、白金：9/26）
10月	ショート講座 「ボラチャレを活用してみよう」対象：全学生（横浜：10/10、10/22） 「ボランティア実践と学びのつながりをまとめてみよう」対象：登録3年生（横浜：10/15、白金：10/17）
11月	ショート講座 「パワーポイントを仕上げよう」対象：登録3年生（横浜：10/29、11/5、白金：10/31、11/7）
11月10日(土)	インテグレーション講座 対象：全登録生 【テーマ】 登録1年生「ボランティア実践に基づく大学での学びについて知る」 登録2年生「自分のボランティア実践を大学での学びに結びつける」

	<p>登録3年生「ボランティア実践と大学での学びを融合した私の“Do for Others”」</p> <p>【内 容】 午前の部：「学びに基づくボランティア実践プレゼンテーション大会」の発表を全登録生が聴講。登録1年生は1年生向けのボランティア学のレクチャーを受講しワークシートを提出。 午後の部：学部に分かれ、登録3年生は自らの「ボランティア実践と大学での学び」での成果をプレゼンテーションした。登録2年生は聴講のうえ、レポートを提出。 また、登録2年生がそれぞれの学びと活動の現状を報告し、登録3年生が自身の経験に基づきアドバイスした。</p> <p>【講 師】 午前の部：発表学生 1年生向けボランティア学レクチャー：教養教育センター運営委員 午後の部：各学部の運営委員の先生方、登録3年生</p>
12月	<p>ショート講座 「1Day サポート学生にチャレンジしよう」対象：全学生（横浜：12/10、12/11） 「最終報告書作成相談」対象：登録3年生（横浜：12/3、12/17、白金：12/5、12/19）</p>
1月	<p>ショート講座 「春休みにボランティアをしてみよう」対象：全学生（横浜：1/9、1/23） 「最終報告書の提出前確認相談」対象：登録3年生（横浜：1/21、1/28、白金：1/16、1/30）</p>
4、6、8、10、1月	「サティフィケートプログラムだより」発行
3月22日（金）	修了証授与式（認定対象者：12名）

1.3 2018年度プログラム登録者数

	学部						合計
	文	経済	社会	法	国際	心理	
2016年度生 （第3回インテグレーション講座 （2018.11）を受講した者）	0	0	9	2	2	2	15
2017年度生 （第2回インテグレーション講座 （2018.11）を受講した者）	3	3	3	0	5	3	17
2018年度生 （第1回インテグレーション講座 （2018.6-8）を受講した者）	8	10	14	6	18	9	65
合計	11	13	26	8	25	14	97

1.4 取り組みのようす

今年度の1年生を迎えて登録1年目から3年目までが初めて揃った。11月10日のインテグレーション講座では3学年が一同に集まり、登録年度に応じてそれぞれの学びを深めることができた。3年生は「ボランティア実践と大学での学びを融合した私の“Do for Others”」としてパワーポイントで発表し、それを2年生が聴講した。3学年が揃うことで上の学年がこのプログラムの取り組みの道しるべとなって、下の学年の学びを深める体制が整ったと言える。

1.5 学びに基づくボランティア実践プレゼンテーション大会

「明治学院大学教育連携・ボランティア・サティフィケート・プログラム」の関連企画として、全3、4年生をエントリー対象として開催した。自身が取り組んだボランティア実践と、学部・学科の授業における学びを関連付け、双方の深まりを図った事例の発表の場を提供し、優れた発表に対して学長賞等を授与するものである。

一次審査（書類審査）を通過した学生が、2018年11月10日に発表を行った（一般公開）。この発表を2017、2018年度登録学生が「第2回インテグレーション講座」の先輩学生の発表として聴講した。

「学びに基づくボランティア実践プレゼンテーション大会」では、厳正なる選考の結果、下記の学生の入賞が決定した。

【テーマ】“Do for Others”の実現のために 「大学での学び」と「ボランティア実践」との連携

学長賞	1名
社会学部社会福祉学科3年	山田実玖
ボランティアセンター運営委員長賞	2名
社会学部社会福祉学科3年	佐藤千香子
社会学部社会福祉学科3年	奈須ひなた
ボランティアセンター長賞	2名
社会学部社会学科4年	毛利光咲
社会学部社会福祉学科3年	佐伯夏風
奨励賞	2名
心理学部教育発達学科4年	柴田康平
社会学部社会福祉学科3年	岩崎奏枝



※受賞者の皆さんの学びとボランティア実践の取り組みをボランティアセンターウェブサイトで紹介しています。

<https://www.meijigakuin.ac.jp/volunteer/certificate/news/2018/2019-02-26.html>

(ボランティアコーディネーター 田口めぐみ)